

平成 27 年 11 月 6 日

No.15-29

神奈川トヨタ フォルクスワーゲン事業を終了
最上のサービス提供を目指し、トヨタ・レクサス事業に注力します。

神奈川トヨタ自動車株式会社(本社:横浜市 社長:市川英治)は平成28年2月18日を持ちまして県内のフォルクスワーゲン販売店舗3店舗の業務を終了、同2月29日を持ちましてフォルクスワーゲン事業を終了することを決定いたしました。

神奈川トヨタでは平成4年にトヨタ自動車株式会社とフォルクスワーゲン製品に関する取引基本契約を結び輸入車部門を発足させて以来、フォルクスワーゲン事業はトヨタ事業とともに成長を続けてまいりました。また、平成22年、フォルクスワーゲンのグローバル販売体制の見直しの一環でトヨタ自動車とフォルクスワーゲンのディストリビューター契約が終了となった際にも神奈川トヨタはフォルクスワーゲン事業を継続すべく、フォルクスワーゲングループジャパンと直接契約を結び今日に至ります。しかし、昨今の世界販売においてトヨタとフォルクスワーゲンは熾烈なシェア争奪戦を繰り広げており、神奈川トヨタといたしましてはその競争相手であるライバルの車を扱うことが極めて大きな矛盾を孕む状況となってまいりました。

また、神奈川トヨタでは今後のトヨタならびにレクサス事業の展開においては、より高品質なサービスを持続的に顧客へ提供することが不可欠と考え、ここに限られた経営資源を集中して投入すべきと考えた次第であります。

一方、フォルクスワーゲングループジャパンは正規販売店舗が県内に20店あり、神奈川トヨタが持つ約8,500件のフォルクスワーゲン車顧客はこれらの店舗に継承することで従来と変わらぬサービス性を維持できるものと判断いたしました。

以上のことを総合的に勘案した結果、神奈川トヨタはフォルクスワーゲン事業の終了を決定、今後はトヨタ・レクサス事業において最上のサービスを提供する店舗運営を目指してまいります。なお、今回の決定は9月以来、報道されておりますフォルクスワーゲンのディーゼル問題とは一切関係がないことを付記いたします。

お問い合わせ先

神奈川トヨタ自動車(株) 渉外広報部
(室長)黒澤・小西 TEL045-459-2216